

逗子市第一運動公園再整備基本設計

(概要版)

平成23年3月

逗子市

有限会社伊藤寛アトリエ

目次

| | |
|-----------------|----------|
| はじめに | |
| 再整備計画の目的 | … … P. 2 |
| 鳥瞰パース | … … P. 3 |
| 公園配置計画 | … … P. 5 |
| 公園空間構成 | … … P. 7 |
| 植栽計画 | … … P. 8 |
| 建築配置計画 | … … P.10 |
| 建築平面計画 | … … P.11 |
| プール計画 | … … P.17 |
| 立面・断面計画 | … … P.19 |
| バリアフリー計画 | … … P.23 |
| 新エネルギー・省エネルギー計画 | … … P.24 |
| 防災・避難計画 | … … P.25 |
| 維持管理計画 | … … P.26 |
| 模型写真 | … … P.27 |

はじめに

第一運動公園は、昭和47年9月都市計画決定後、市の中心となる地区公園として運動施設を主体に整備され、多くの市民に利用されてきました。しかし、開園後相当の期間が経過し、施設機能の老朽・劣化が目立ち始め、今後の市民ニーズに対応できなくなってきたため、新たに当公園に求められる施設機能の向上・充実と併せて再整備を行う必要があります。

こうしたことから、老朽・劣化した施設の改修だけでなく、逗子市の中心的な公園として、防災機能の充実、バリアフリーや多様化する公園へのニーズにこたえうる施設として整備することを目的としています。

再整備計画の目的

逗子市では、第一運動公園の再整備を通して、次の個別の目的の達成を目指します。

- (1) 施設の老朽化による公園利用の低減化を改善し、公園施設、特に水泳プール施設の安全性や快適性の向上を図る。
 - (2) 多くの市民が集い利用する公園としての機能を高める。
 - ア 防災機能の充実
広域避難場所としての役割を高め、災害ボランティア活動や物資集積・輸送の拠点として活用できるように施設を充実させる。
 - イ バリアフリー化
全ての利用者が安全、円滑、快適に移動できるよう園路、広場や施設の見直しを行い、「都市公園移動等円滑化基準」に適合するバリアフリーの公園として整備する。
 - ウ 新エネルギーの利用検討
循環型・低炭素社会システムの進展及び災害時に対応し、公園施設に必要なエネルギーや資源を雨水や太陽光などの自然エネルギーからも調達できるよう検討する。
 - (3) 多様な市民のニーズに対応する機能の充実を図る。
地理的に逗子市の中心的な位置にある当公園内に、中・高生の居場所として、また、生涯学習・スポーツなど多様な活動を通じた異世代間の自由な交流拠点となる*体験学習施設を整備する。
- *「体験学習施設」とは、都市公園法における「公園利用者が、運動、植物等に関する実験、体験、実技、講義等を行うことができる施設」です。

■開かれた交流の場

市の中心的な位置にある第一運動公園内に、青少年の健全育成を主体とし、子どもからお年寄りまで、ふれあいを中心とした様々な活動が体験できる施設を設置し、公園全体の活性化を図ります。

- ・起伏を持つランドスケープの中に体験学習施設を6つの棟に分けて配置します。
- ・外装には自然の木を用い、手触り感や、経年による色の変化を楽しめるものとします。
- ・各施設を結ぶ1本の道が道広場として公園を東西に渡り、そこには連続した屋根が掛かります。
- ・緑の起伏と、地面から浮いた連続屋根の対比は公園に新しい風景をつくりだします。

道広場は施設をつなぐという機能だけに留まりません。内部と、外部である公園との中間の領域として夏は日を遮り、冬は陽だまりとなり、雨の日には外部で活動できる場所を提供します。

何か目的を持ってやって来る人もいるでしょうし、休日にふらりと足を運ぶ人もいることでしょう。目的の有る無しにかかわらず、様々な年代の人々がここで顔を合わせ、挨拶を交わし、色々な人達の活動を共存できる、そのような建築が望まれていると考えます。

ここは閉じた場所ではなく、公園と建築、そして人と人を緩やかにつなぐ、開かれた交流の場です。



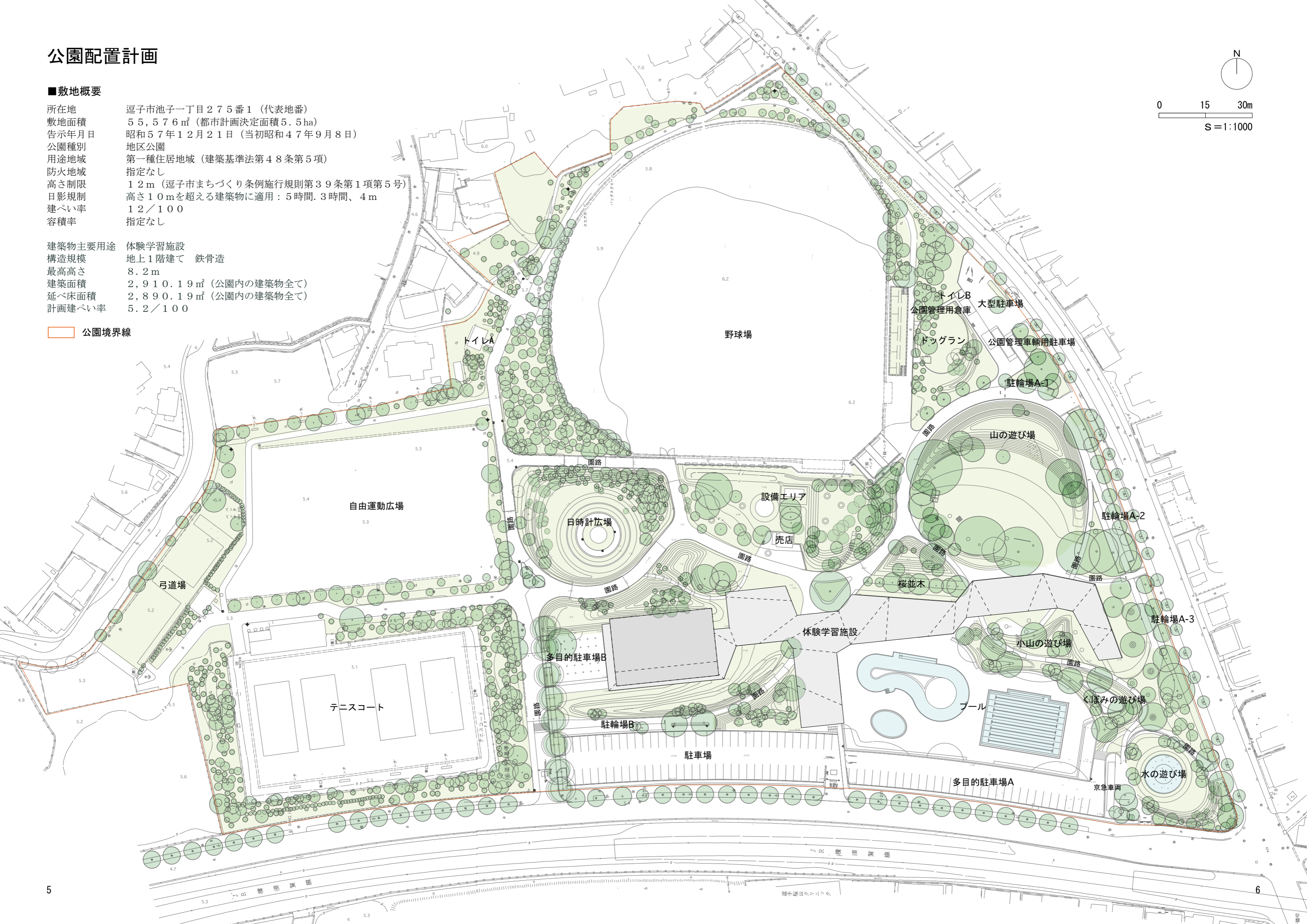
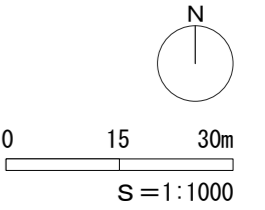
公園配置計画

敷地概要

所在地 逗子市池子一丁目275番1 (代表地番)
 敷地面積 55,576㎡ (都市計画決定面積5.5ha)
 告示年月日 昭和57年12月21日 (当初昭和47年9月8日)
 公園種別 地区公園
 用途地域 第一種住居地域 (建築基準法第48条第5項)
 防火地域 指定なし
 高さ制限 12m (逗子市まちづくり条例施行規則第39条第1項第5号)
 日影規制 高さ10mを超える建築物に適用: 5時間、3時間、4m
 建ぺい率 12/100
 容積率 指定なし

建築物主要用途 体験学習施設
 構造規模 地上1階建て 鉄骨造
 最高高さ 8.2m
 建築面積 2,910.19㎡ (公園内の建築物全て)
 延べ床面積 2,890.19㎡ (公園内の建築物全て)
 計画建ぺい率 5.2/100

公園境界線

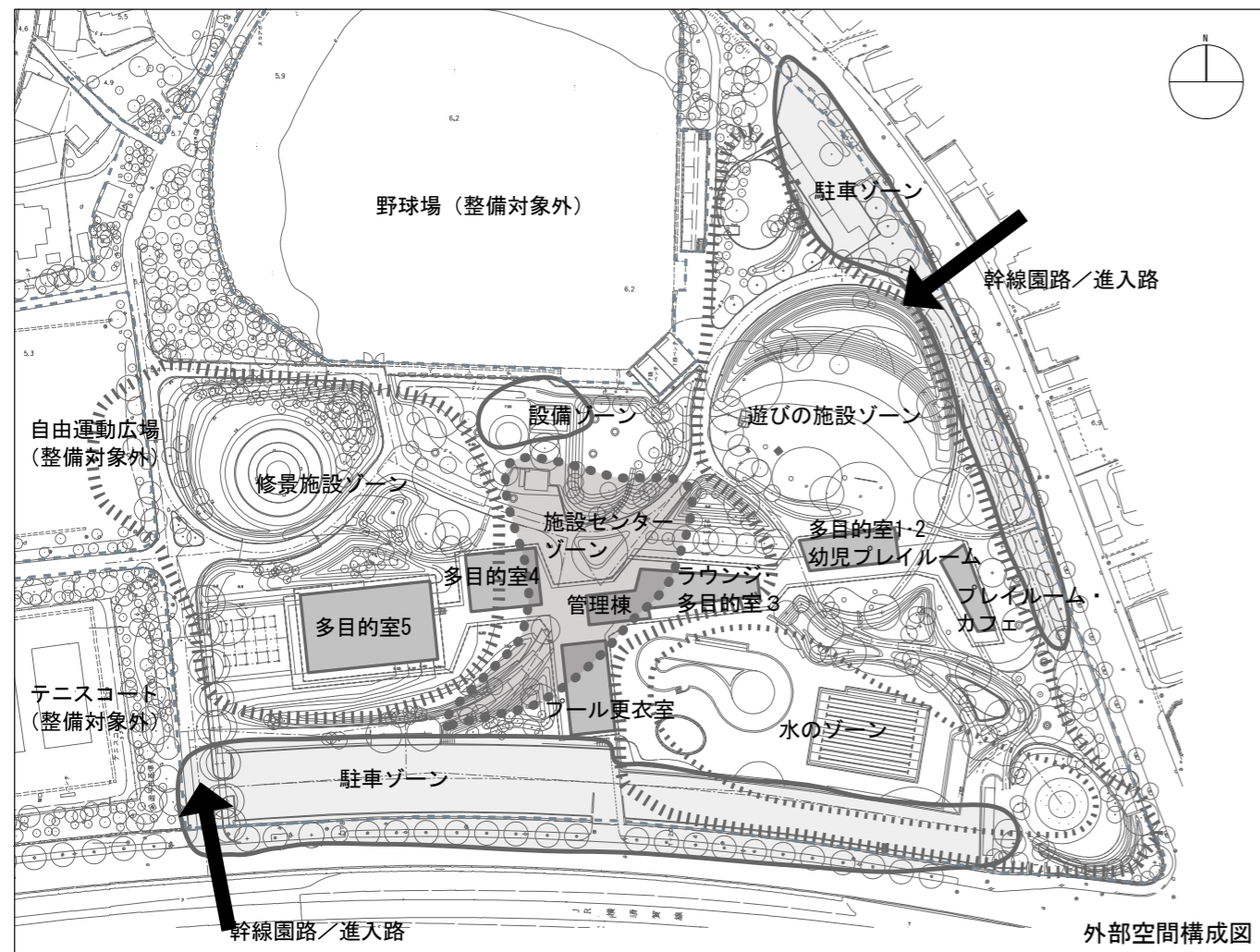


公園空間構成

■公園全体の空間構成

公園全体を逗子の自然的特徴の谷戸の一端としてとらえ、公園全体に起伏を作り出し公園全体の新たな景観を創り上げます。

| ゾーン名称 | 空間構成の考え方 |
|-----------|--|
| 駐車ゾーン | 公園南側・東側は幹線道路に接している。 幹線道路から入りやすい場所に駐車場を設ける。 |
| 修景施設ゾーン | 再整備対象外のテニスコート、自由運動広場、野球場などと接する場所である。 各公園施設の緩衝空間として、ゆったりとしたオープンスペースを計画する。 |
| 施設センターゾーン | 体験学習施設の管理機能（ラウンジ、施設管理、プール管理など）や、売店・青い鳥など 公園内で人々が集まる場を設ける。 |
| 遊びの施設ゾーン | 公園南東部に位置し、近隣住宅地に接する場所である。体験学習施設のプレイルーム、 乳幼児プレイルーム、カフェ、多目的室1、2、3などが位置する。子どもの遊び場を設ける。 |
| 水のゾーン | 公園南部に位置する、プール、水の遊び場である。 プール施設としてだけでなく、水の修景施設としても計画する。 |
| 設備ゾーン | 公園内の設備スペースである。 既存の受水槽の基礎などを活かすことで、インフラ整備の費用の軽減を図る。 |



外部空間構成図

植栽計画

■基本的な考え方

現状の公園内の植生を活かした植栽計画とし、既存高中木を極力残し緑豊かで、かつ管理しやすい公園にします。
大きな既存樹木を生かし、公園のシンボルツリーとなるように計画します。

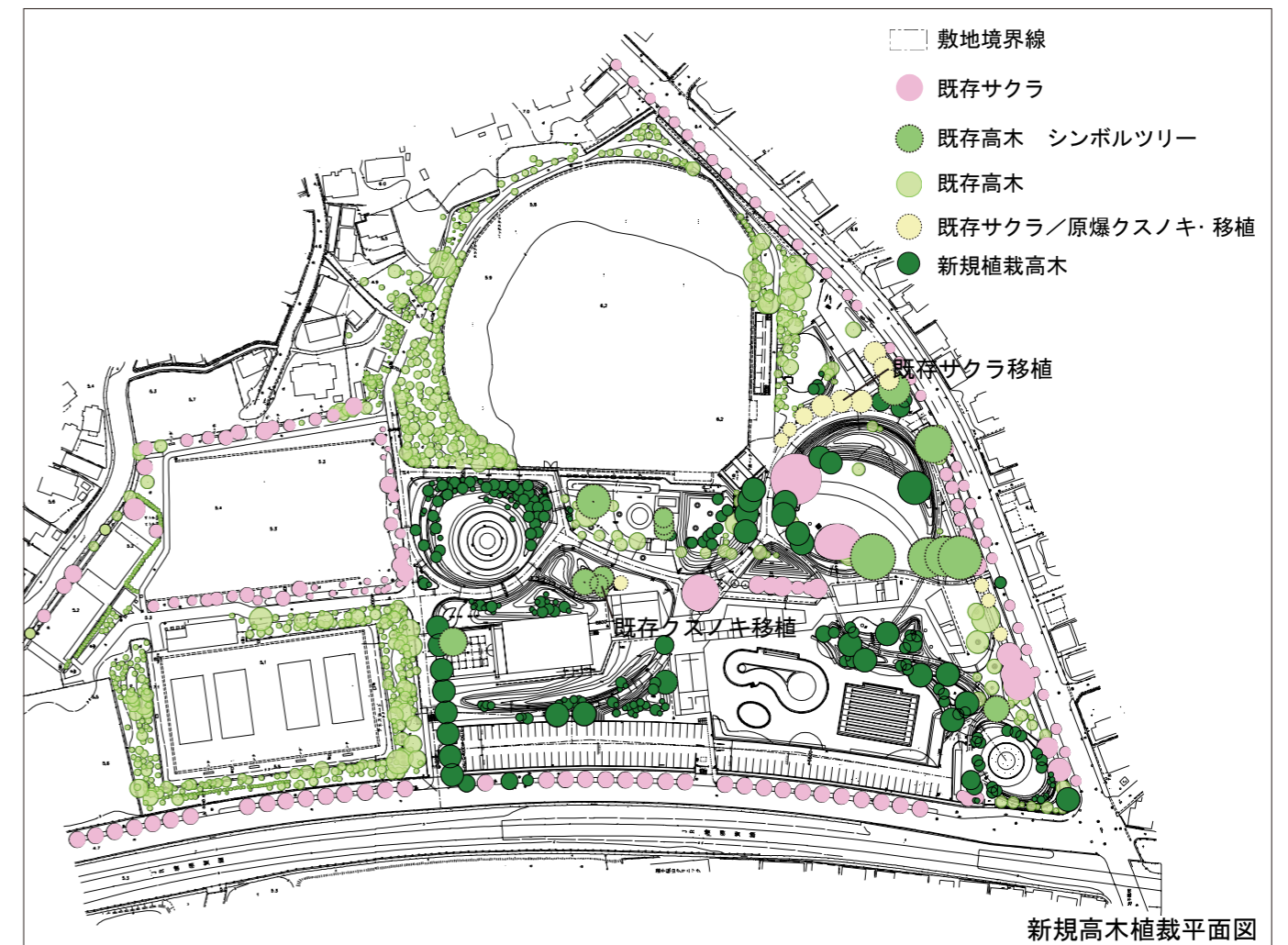
新たに植えられる植物については逗子らしい植物を植え、逗子の自然環境と調和する植栽計画とします。常緑広葉樹や落葉樹を用いて四季の変化を楽しめるような公園の計画とします。

■植栽の現状

主な高木：ソメイヨシノ、ヤエザクラ、クスノキ、イチョウ、アラカシ、クロマツ、ヒイラギモクセイ、ヒノキ、ヒマラヤスギ、スダジイなど。

主な中低木：カイヅカイブキ、トベラ、サツキ、トウネズミモチ、サンゴジュ、サザンカ、キョウチクトウ、オトメツバキ、イロハモミジ、アジサイ、オオムラサキなど。

主な地被植物：芝



新規高木植栽平面図

建築配置計画

■多目的室4～5エリア

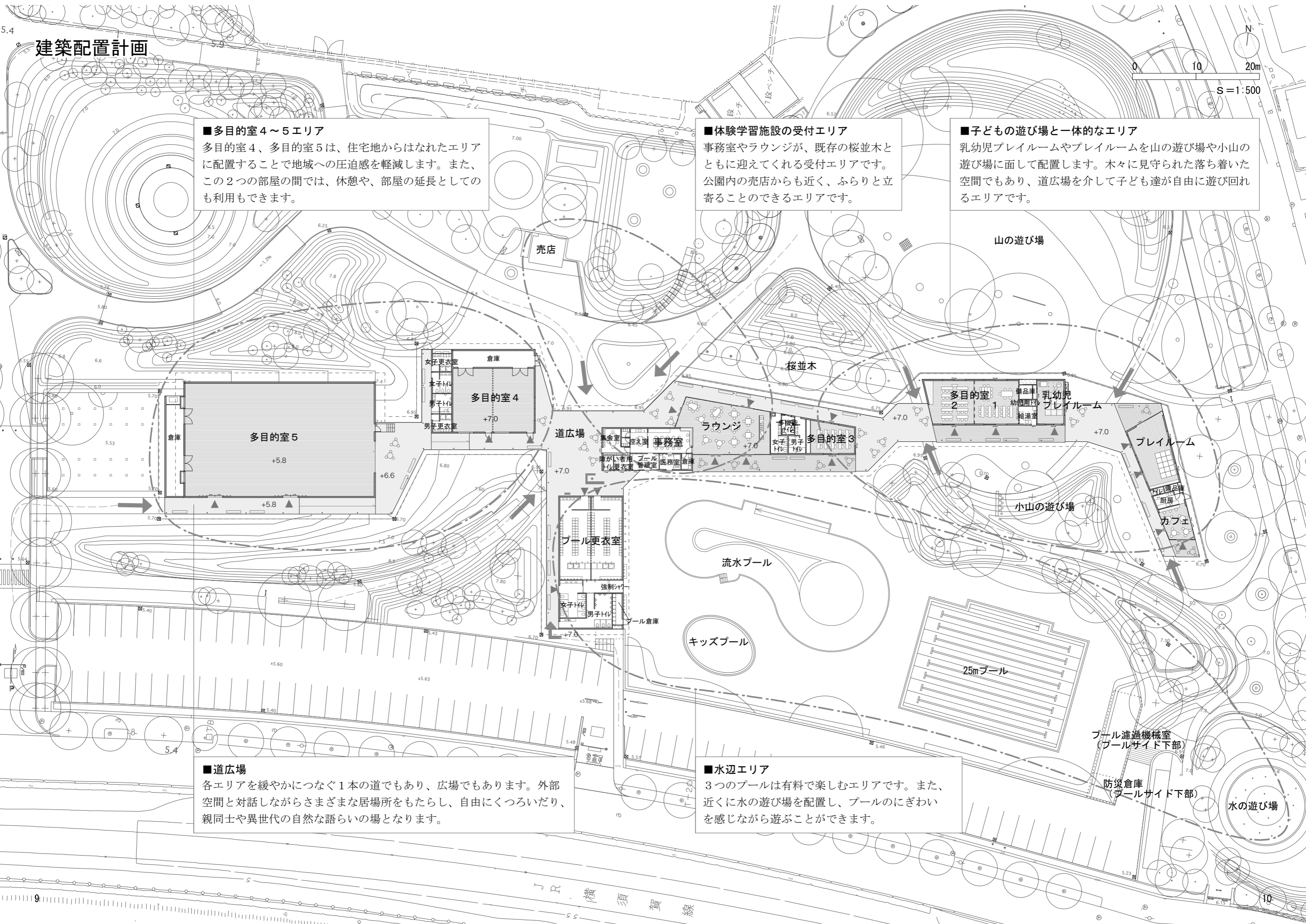
多目的室4、多目的室5は、住宅地からはなれたエリアに配置することで地域への圧迫感を軽減します。また、この2つの部屋の間では、休憩や、部屋の延長としての利用もできます。

■体験学習施設の受付エリア

事務室やラウンジが、既存の桜並木とともに迎えてくれる受付エリアです。公園内の売店からも近く、ふらりと立寄ることのできるエリアです。

■子どもの遊び場と一体的なエリア

乳幼児プレイルームやプレイルームを山の遊び場や小山の遊び場に面して配置します。木々に見守られた落ち着いた空間でもあり、道広場を介して子ども達が自由に遊び回れるエリアです。



売店

山の遊び場

桜並木

多目的室5
+5.8

多目的室4
+7.0

道広場

ラウンジ

多目的室3

多目的室2

多目的室1

乳幼児プレイルーム

プレイルーム

小山の遊び場

カフェ

流水プール

キッズプール

25mプール

プール濾過機械室
(プールサイド下部)

防災倉庫
(プールサイド下部)

水の遊び場

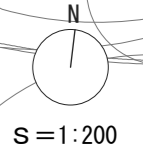
■道広場

各エリアを緩やかにつなぐ1本の道でもあり、広場でもあります。外部空間と対話しながらさまざまな居場所をもたらし、自由にくつろいだり、親同士や異世代の自然な話合いの場となります。

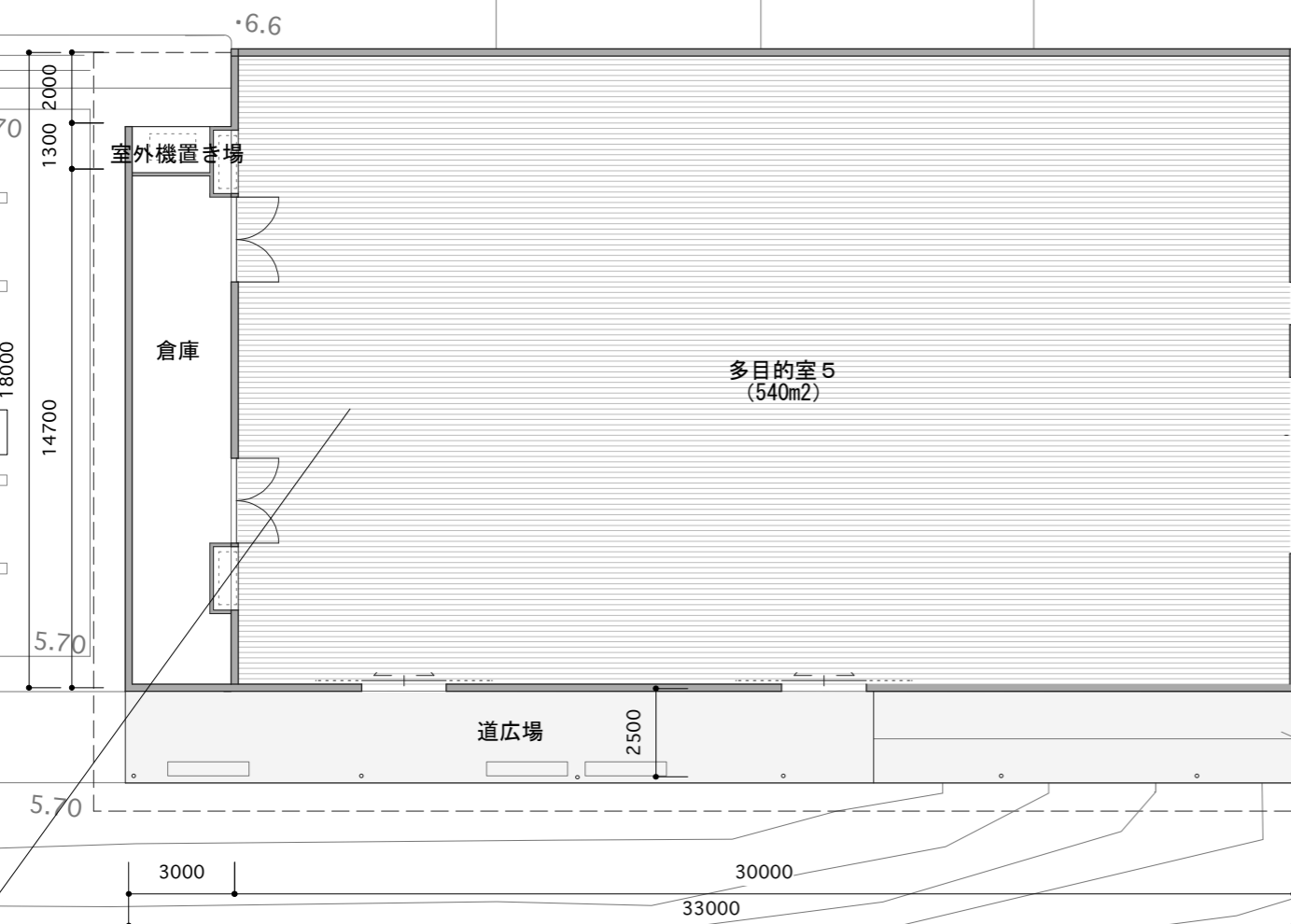
■水辺エリア

3つのプールは有料で楽しむエリアです。また、近くに水の遊び場を配置し、プールのにぎわいを感じながら遊ぶことができます。

建築平面計画 1 (西)

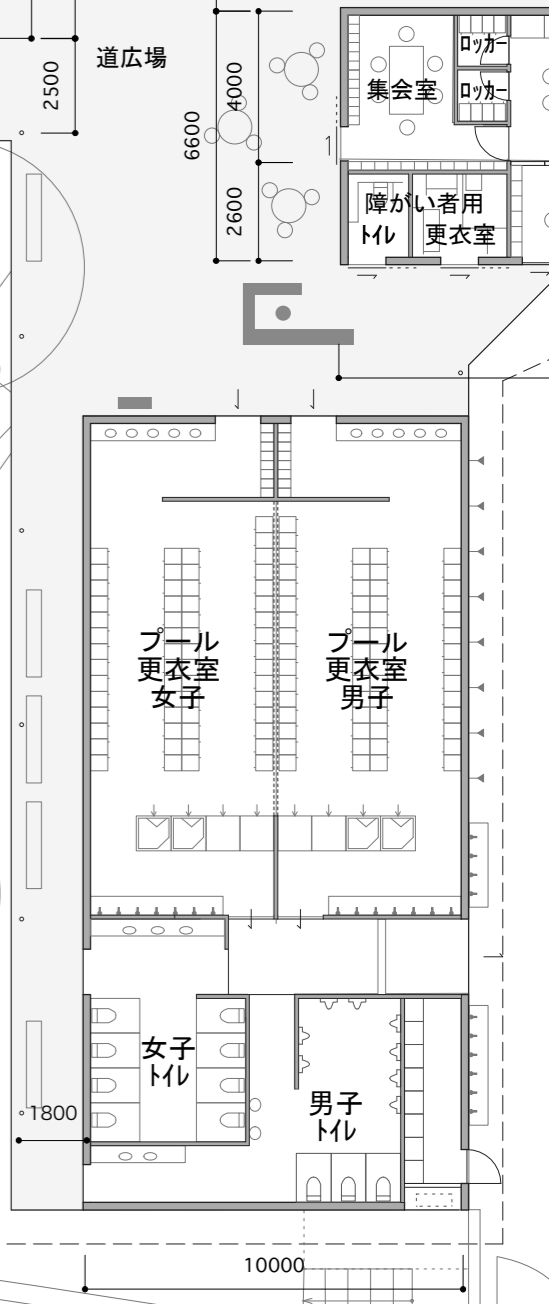
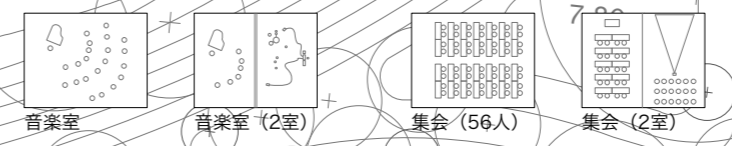
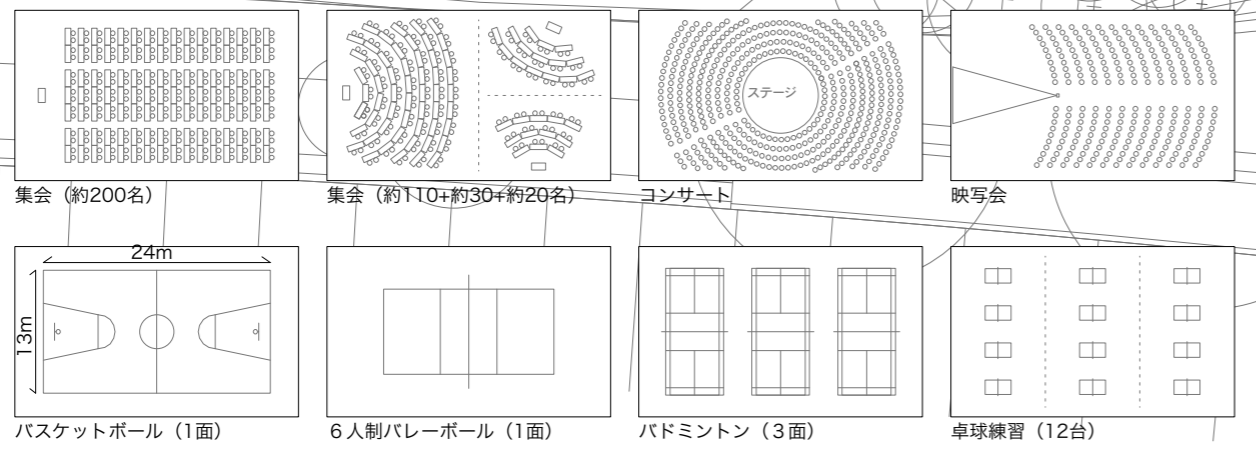


■道広場
外部空間と一体的に利用出来る開放的な道広場です。



■多目的室5
講演、講座、スポーツ、ダンス、式典、ミニコンサート等、幅広く多目的に使用できます。天井の高い大きな部屋なので、住居エリアから最も離れたテニスコート側に配置し、圧迫を抑えるために地面に少し埋め込まれています。
+ 駐車場のレベルは多目的室5の床のレベルとほぼ同じになるため、駐車場から利用しやすい計画です。
*広さ 30.0m × 18.0m
*高さ 8.0m

■多目的室4
ダンス、音楽、ミニコンサート、式典、講演、スポーツ等に使える簡易防音仕様の部屋です。可動間仕切りによって2室に分割することができます。
*広さ 13.0m × 10.0m
*高さ 3.5~5.0m



建築平面計画 2 (中央)



■施設の受付や公園内売店からも近い道広場です。
7.0 ふらりと寄りやすい空間となり、誰もが気軽に集える交流の場として自然な語らいの場を提供します。

■中高生が施設運営の打合せ等に自由に使える集会室を設けます。

■施設受付カウンターでは、貸出し品や各室の利用の管理を行います。

■既存の桜並木に面した道広場です。通り過ぎるだけでなく、気軽に集える場となります。

■小山の遊び場に面した道広場です。誰もが気軽に集える開放的な交流の場となります。

■プール管理室からは直接プールを見ることができ、安全に管理できます。

■障がい者のための更衣室を設けます。

■ラウンジの近くに配置された多目的室です。子ども達が自由に使うこともでき、学習、講習、講演など、多用途に使える部屋です。

■洋便器・可動式手すり・手洗器・鏡・収納式多目的シート・ベビーチェア・オストメイト対応流しの機能をもつ、多機能トイレを設置します。

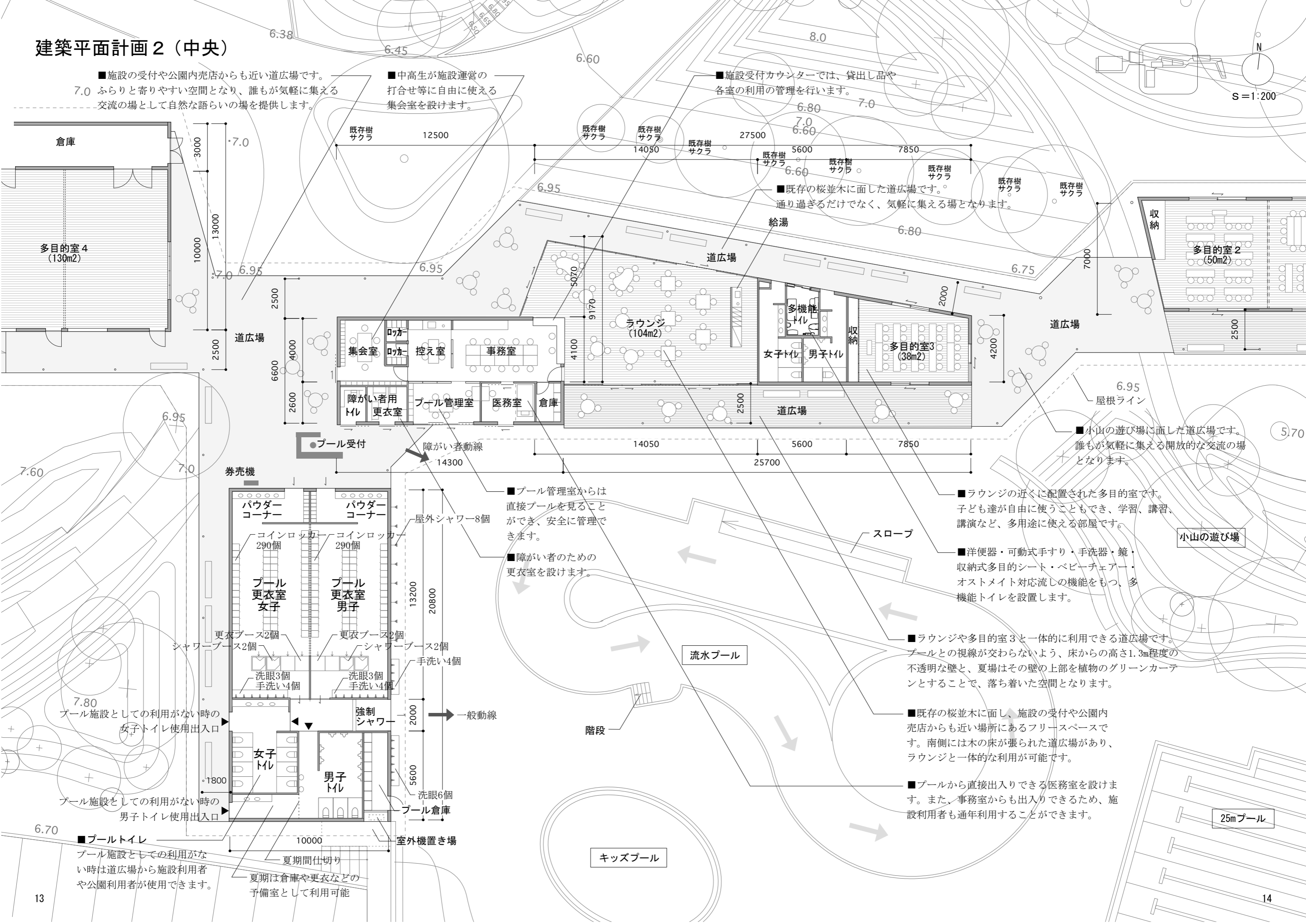
■ラウンジや多目的室3と一体的に利用できる道広場です。プールとの視線が交わらないよう、床からの高さ1.3m程度の不透明な壁と、夏場はその壁の上部を植物のグリーンカーテンとすることで、落ち着いた空間となります。

■既存の桜並木に面し、施設の受付や公園内売店からも近い場所にあるフリースペースです。南側には木の床が張られた道広場があり、ラウンジと一体的な利用が可能です。

■プールから直接出入りできる医務室を設けます。また、事務室からも出入りできるため、施設利用者も通年利用することができます。

■プールのトイレ
プール施設としての利用がない時は道広場から施設利用者や公園利用者が使用できます。

夏期間仕切り
夏期は倉庫や更衣などの予備室として利用可能



建築平面計画3 (東)

S=1:200

■乳幼児プレイルーム

プレイルームやカフェとともに、小山の遊び場を囲むように配置し、小山の遊び場のにぎわいを感じることができる空間です。一部を畳コーナーとし、自由にくつろぐことができます。授乳コーナー、おしめ替えコーナー、幼児用トイレも備えます。

■小山の遊び場と山の遊び場をつなぎ、乳幼児プレイルーム、プレイルームとともに一体的に使用できる道広場です。

■プレイルーム

小山の遊び場、山の遊び場に入りやすい位置に配置し、内部と外部を楽しむことができます。雨の日でも身体を動かせ、のびのびと遊べる開放的な動的エリアと、お弁当を食べたり、本を読んだりできる、畳コーナーのある静的エリア、2つのエリアを持つプレイルームです。

■カフェ

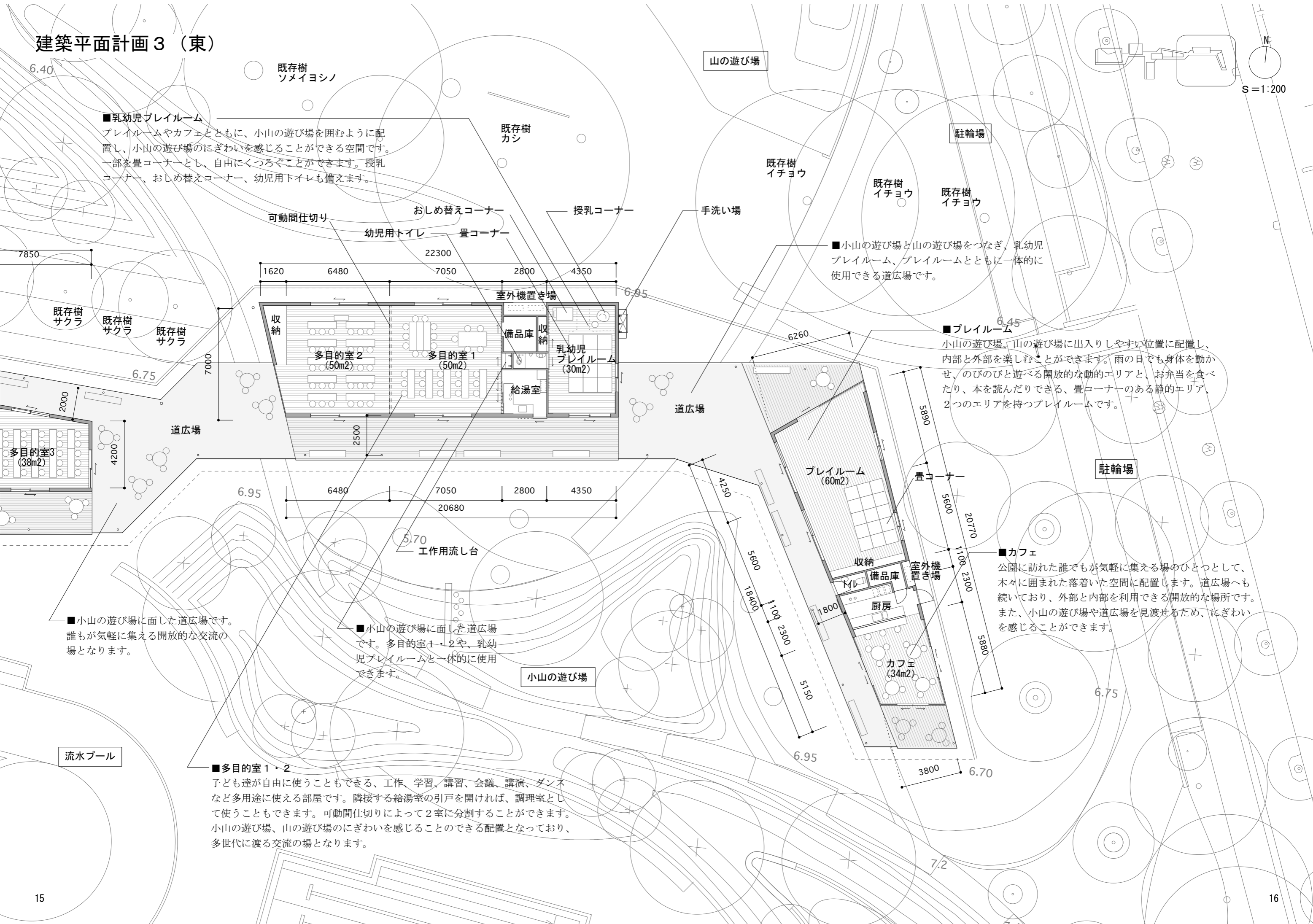
公園に訪れた誰でもが気軽に集える場のひとつとして、木々に囲まれた落ち着いた空間に配置します。道広場へも続いており、外部と内部を利用できる開放的な場所です。また、小山の遊び場や道広場を見渡せるため、にぎわいを感じることができます。

■多目的室1・2

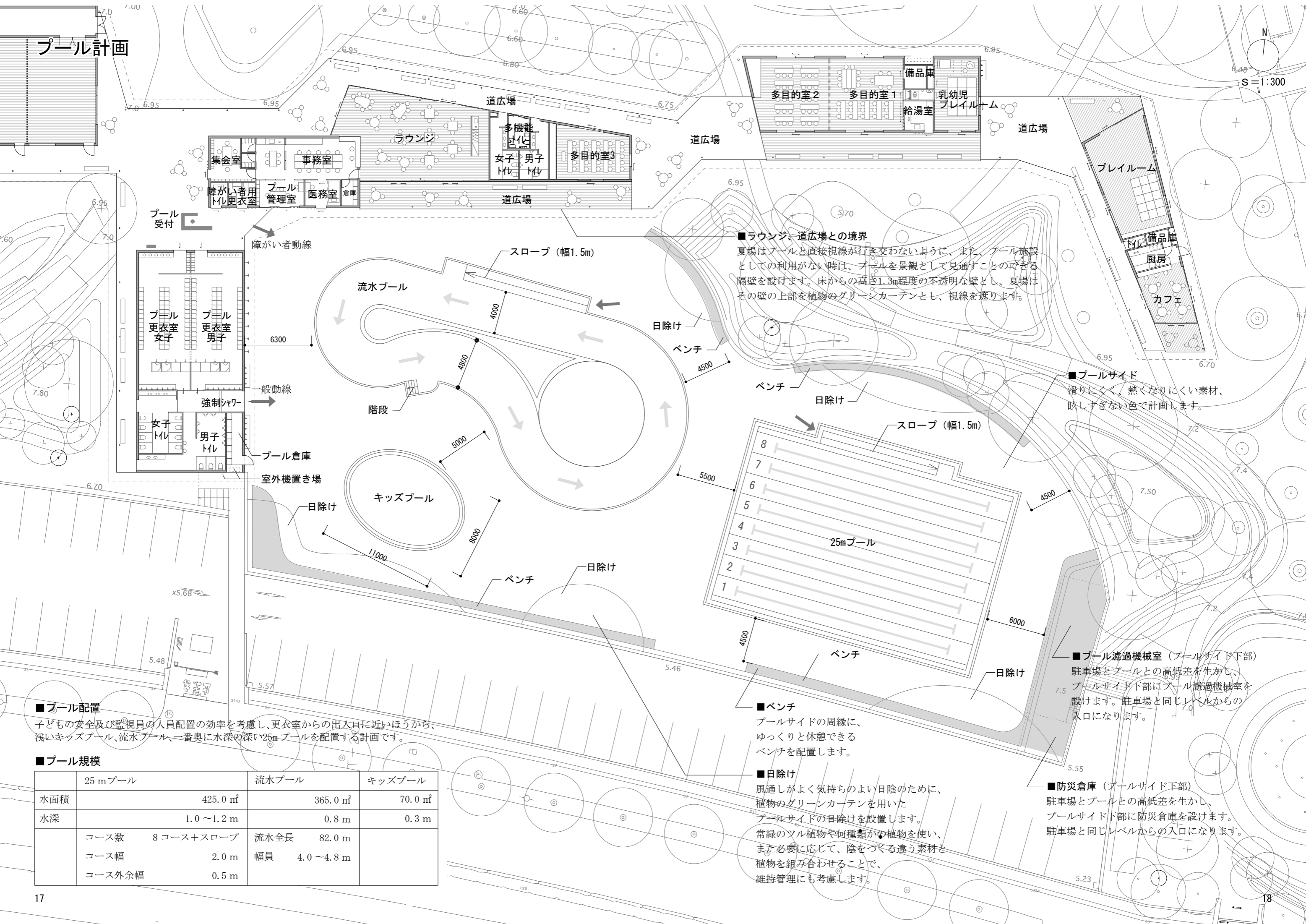
子ども達が自由に使うこともできる、工作、学習、講習、会議、講演、ダンスなど多用途に使える部屋です。隣接する給湯室の引戸を開ければ、調理室として使うこともできます。可動間仕切りによって2室に分割することができます。小山の遊び場、山の遊び場のにぎわいを感じることのできる配置となっており、多世代に渡る交流の場となります。

■小山の遊び場に面した道広場です。多目的室1・2や、乳幼児プレイルームと一体的に使用できます。

■小山の遊び場に面した道広場です。誰もが気軽に集える開放的な交流の場となります。



プール計画



■ラウンジ、道広場との境界

夏場はプールと直接視線が行き交わないように、また、プール施設としての利用がない時は、プールを景観として見通すことのできる隔壁を設けます。床からの高さ1.3m程度の不透明な壁とし、夏場はその壁の上部を植物のグリーンカーテンとし、視線を遮ります。

■プールサイド

滑りにくく、熱くなりにくい素材、眩しすぎない色で計画します。

■プール濾過機械室 (プールサイド下部)

駐車場とプールとの高低差を生かし、プールサイド下部にプール濾過機械室を設けます。駐車場と同じレベルからの入口になります。

■防災倉庫 (プールサイド下部)

駐車場とプールとの高低差を生かし、プールサイド下部に防災倉庫を設けます。駐車場と同じレベルからの入口になります。

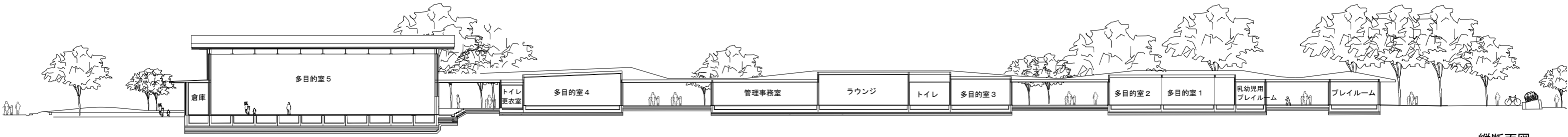
■プール配置

子どもの安全及び監視員の人員配置の効率を考慮し、更衣室からの出入口に近いほうから、浅いキッズプール、流水プール、一番奥に水深の深い25mプールを配置する計画です。

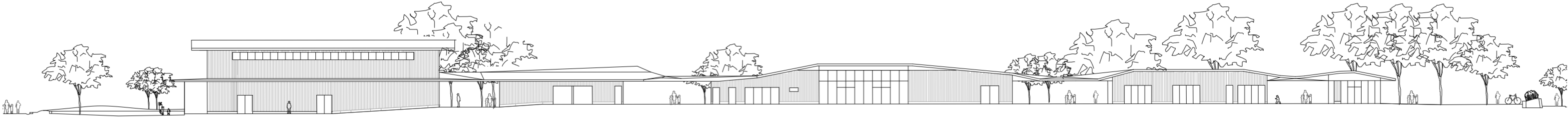
■プール規模

| | 25mプール | 流水プール | キッズプール |
|--------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 水面積 | 425.0 m ² | 365.0 m ² | 70.0 m ² |
| 水深 | 1.0~1.2 m | 0.8 m | 0.3 m |
| コース数 | 8コース+スロープ | 流水全長 | 82.0 m |
| コース幅 | 2.0 m | 幅員 | 4.0~4.8 m |
| コース外余幅 | 0.5 m | | |

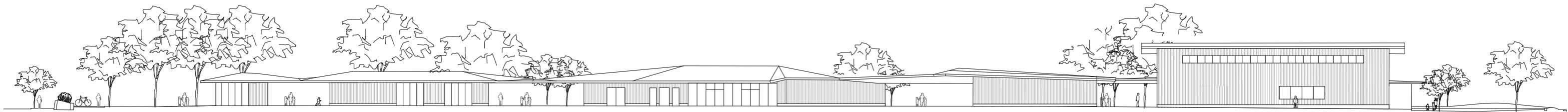
立面・断面計画



縦断面図



南側立面図



北側立面図

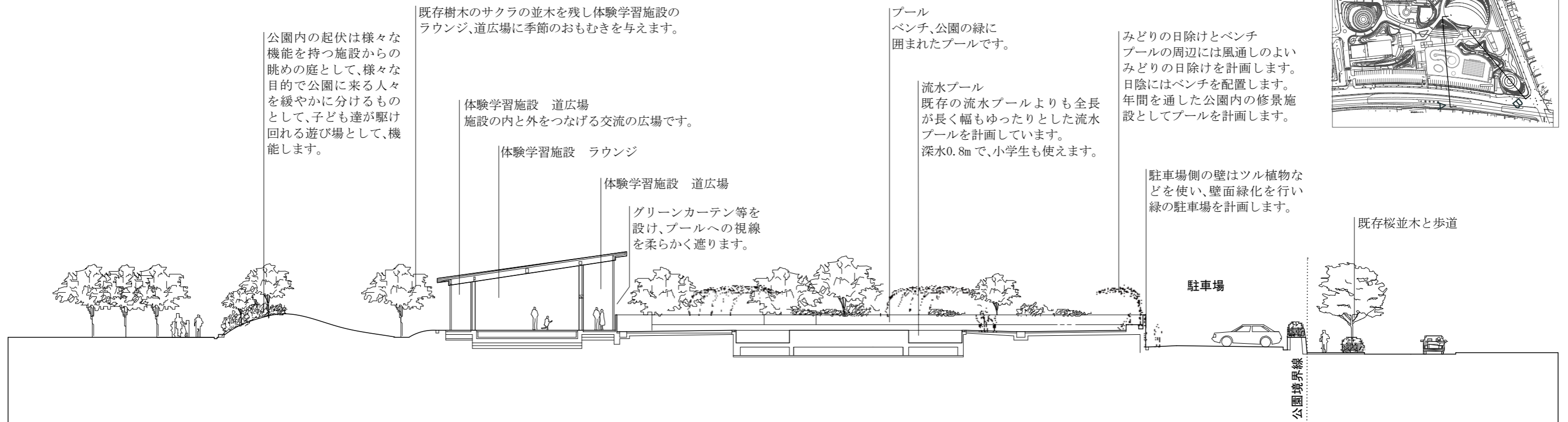


多目的室5西側立面図

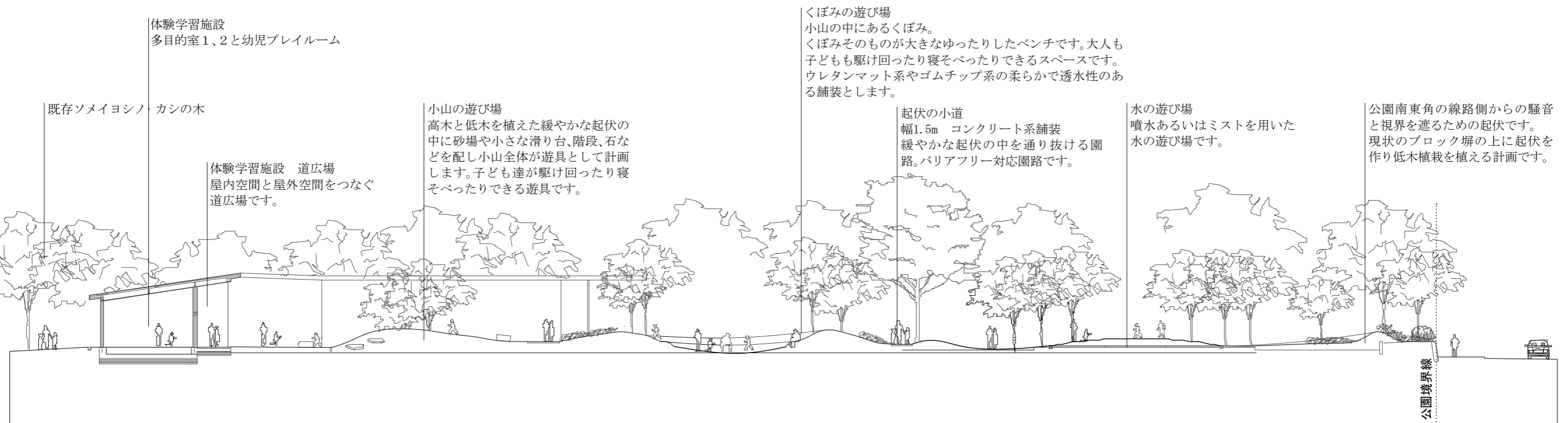
多目的室5東側立面図

- ・採光計画：ガラス窓より採光量確保とする
- ・排煙計画：ガラス窓とは別に、居室上部に排煙窓を設け、必要面積確保とする
- ・換気計画：ガラス窓、排煙窓により換気量確保とする

断面計画



体験学習施設ラウンジ-道広場、流水プール、駐車場周辺 断面図A S=1:300



小山の遊び場と水の遊び場 断面図B S=1:300

バリアフリー計画

■基本的な考え方

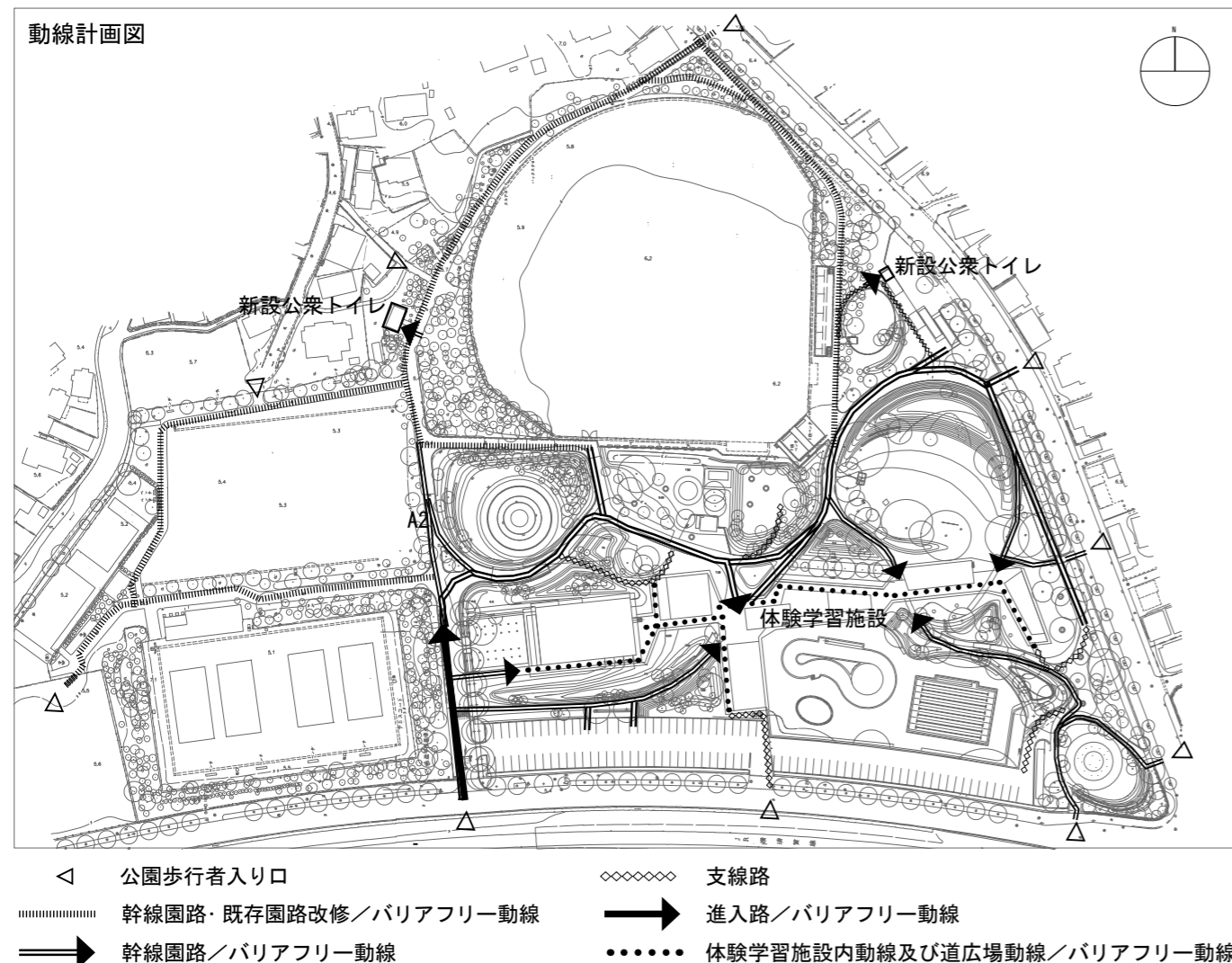
市民が集い利用する公園を安心して快適に利用できるよう、誰もが住み良いまちづくりの考えに基づき、バリアフリー化に取り組みます。「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」においては、「公園の規定」が適用されます。

■バリアフリー化計画の項目等

・「出入口」、「園路」、「階段」、「傾斜路」、「便所」、「駐車場」、「案内表示」、「付帯設備」、「視覚障がい者の安全かつ円滑な利用に必要な設備」のバリアフリー化を行います。

■重視する整備ポイント

- ・移動動線は、安全性、移動のしやすさ、滑り難さに配慮し、視覚障害誘導ブロック等を敷設します。
- ・段差の適切な処置、移動時の転落防止、衝突防止、動線上の安全な掲示等を行います。
- ・出入口の幅、車椅子使用、介助動作等への配慮ある空間を確保し、適切な空間寸法とします。
- ・みんなのトイレ、広めの便房、わかりやすいサイン等、適切な供用スペースを計画します。
- ・子ども、高齢者、障がい者が使いやすい機器類、わかりやすい空間構成と案内等、操作性と認知性に優れた計画とします。
- ・立位、座位への対応可能な家具類、使いやすい設備類、フレキシビリティのある空間構成等、利用者への柔軟な対応性のある空間を計画します。



新エネルギー・省エネルギー計画

■ヒートアイランド抑制と雨水活用

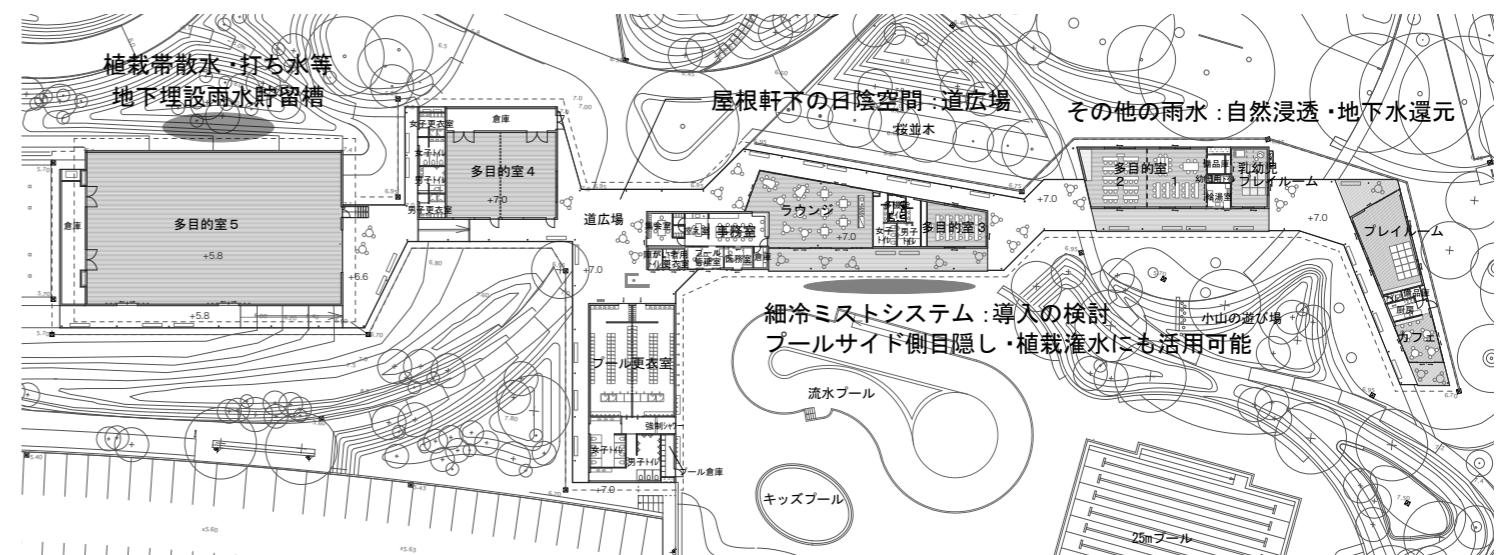
- (1) 多目的室5屋根の雨水：地下雨水貯留槽の設置
 - ・地下構造躯体に負担を掛けず設置コストが低い「既製雨水貯留タンク」を地下埋設します。
 - ・夏期ヒートアイランドの抑制（道広場への打ち水等）と植栽灌水供給等に使用します。
- (2) その他の雨水：自然浸透・地下水還元
 - ・雨水は軒先から自然落水させ、雨水を還流するための浸透有孔管を埋設し、地下水に還元します。
 - ・落ち葉が雨樋に詰まることによるメンテナンス頻度の削減と樋廻り漏水原因の除去を図ります。
- (3) 透水性・遮熱性のある素材の選択
 - ・園路の舗装等は、透水性のある素材、遮熱性のある舗装を選択しヒートアイランドを抑制します。
- (4) 細冷ミスト導入の検討
 - ・道広場に、涼しさ付加や粉塵防止等に適した細冷ミストの導入を検討します。
 - ・夏季の防暑対策として、省エネ効果が高く、ヒートアイランド対策に有効です。

■CO2の削減と太陽光活用

- (1) 太陽光発電パネルの設置
 - ・公園内園路灯等に太陽光発電を活用し、CO2削減へ貢献します。
 - ・環境教育効果が図られるように、目に見える形で太陽光発電パネルを公園内に設置します。
- (2) LED照明の採用について
 - ・LED照明は、今後の技術的な進展と価格面での推移を見ながら、適した箇所に採用していく方針とします。
 - ・蛍光灯照明の設置箇所において、将来のLEDランプへの交換等を視野に入れた照明機器を選定します。
- (3) 潜熱回収型給湯器の採用
 - ・CO2削減に有効な機器として、潜熱回収型給湯器を各所の給湯利用箇所に設置します。
- (4) 高断熱性遮熱性への対応
 - ・屋根壁面での高断熱性化と開口部での複層ガラス、遮熱断熱塗料等の採用等、優れた仕様素材を選択します。

■自然エネルギーと建築：太陽光・風・日陰の活用

- (1) 屋根庇により、夏期は日陰涼しさ、中間期は自然通風、冬期は陽だまりの享受等自然エネルギーを活用します。
- (2) 軒下空間での自然通風換気により空調負荷を軽減し、CO2削減とランニングコスト軽減が図られます。
- (3) 環境共生的に優れた建築、PAL値（建築物の外壁、窓等を通しての年間熱負荷量）が小さい建築です。



防災・避難計画

■防災計画の考え方

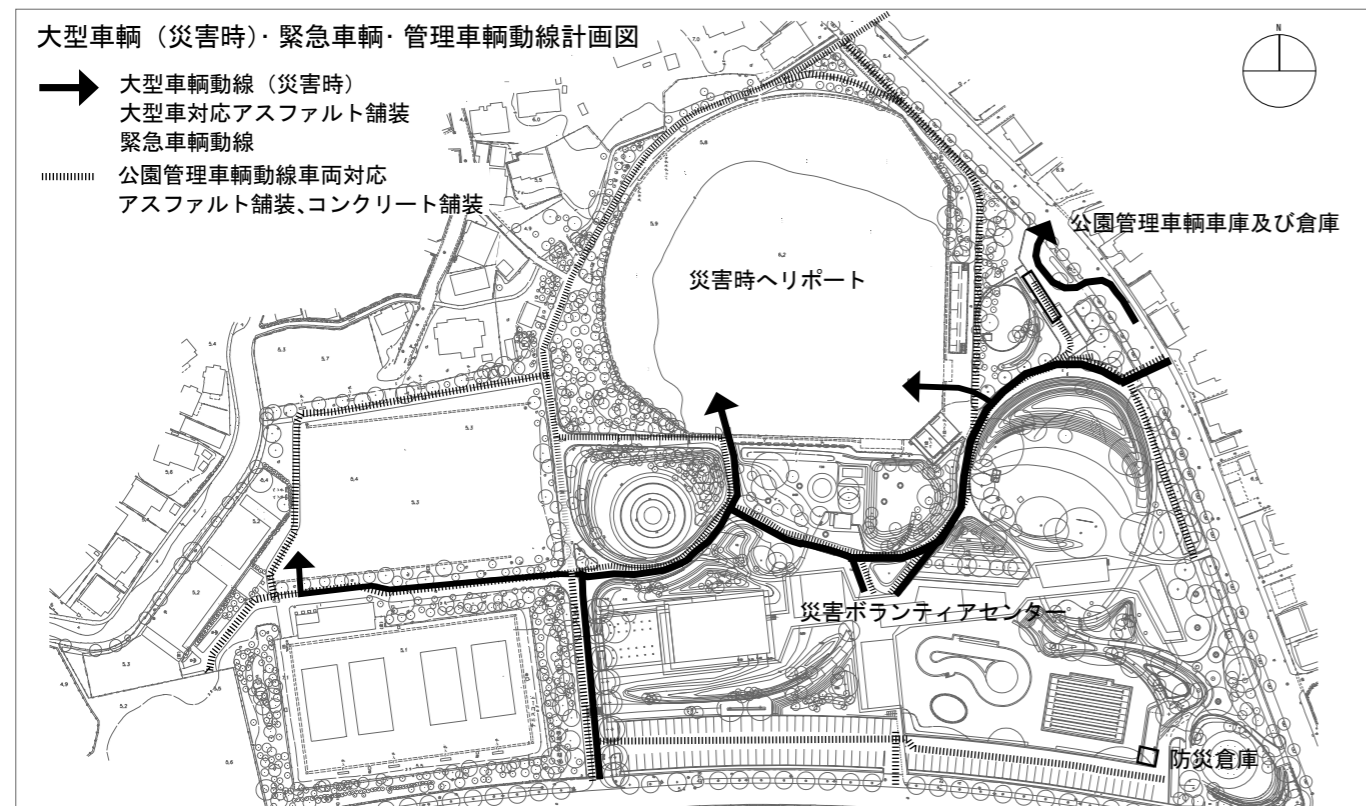
- ・建築物は耐火構造とし、火災時には迅速な消火活動が可能となるように必要な消火設備を備えます。
- ・上の階や縦方向への延焼と煙上昇がなく、安全性の高い計画です。また、各居室は道広場を介して繋がっており、隣接する居室ゾーンへの延焼のおそれが少ない建築です。
- ・施設の用途に応じて耐震性能を割増するための用途係数は、標準の1.0に対し最高級の1.5（市庁舎等同等）とします。これは建築基準法の通常強度の1.5倍程度です。
- ・耐風性能は、風力圧を想定する風速再現期間を標準の100年の倍である200年とした設定とし、それを満たす耐風圧強度を持つ構造計画とします。

■避難計画の考え方

- ・全ての居室が外部空間公園レベルに直接面し、火災時等の避難時間と避難動線は短く、煙炎等にまかれない安全な施設として計画しています。
- ・階段、エレベーターが不要な計画ゆえ、子ども、高齢者、車椅子利用の方々に、同一レベルでの避難動線と安全な空間を提供し、管理者側の避難誘導においても適切に対応できる計画としています。

■災害時対応の考え方

- ・災害時の地域防災拠点として、緊急大型車両等の出入りが可能となる公園動線を計画しています。
- ・全ての空間は公園または駐車場と近接しているため、災害時物資の搬入、搬出、供給、ストックが容易で、広域避難場所及び災害ボランティアセンターとして機能的に優れた計画です。
- ・全ての空間が公園に面しているため、避難退避、救急応急スペース、ボランティアスタッフスペース等の機能に対して、室内空間が柔軟に対処可能となる計画です。
- ・災害時における設備的な対応としては、「屋外プール水の緊急時活用及び雨水貯留槽水の活用」「ポータブル発電機によるバックアップ電源の供給」「太陽光発電による公園内照明」等です。
- ・通常時は都市ガス設備としますが、災害時にはプロパンガス設備に切り替え可能な方式とします。



維持管理計画

■維持管理計画の概要

(1)維持管理及び保全

- ・日常的な維持管理 …約1千7百万円/年
光熱水費（電気、ガス、上下水道）、清掃業務、警備業務、施設管理業務委託
- ・定期的な維持管理 …約百万円/年
保守点検（自動火災報知器、電話設備、受変電設備、誘導灯非常照明、空調、自動ドア、シャッター）、受水槽清掃
- ・随時的または長期的な維持管理（更新、変更、向上を伴う維持管理）
補修、修繕、改修、更新工事、用途変更、診断調査（耐震診断ほか）

(2)長期的維持管理計画・ライフサイクルコスト（LCC）・計画保全

- ・日常のランニングコストの低減が図られる計画とし、将来的な視点に立って維持管理費を含め、費用対効果を十分に考慮したうえで、長期的な維持管理計画（LCC）を考えます。
- ・維持管理計画により、経済的かつ効率的な計画保全を策定し、公園、建築、設備等の不良箇所、故障等の機能低下の前に点検修繕を行います。

■施設計画と維持管理について

- ・園路を含む公園全域にわたり、ランニングコストが低減し、汎用性のある補修修理が簡易な素材、メンテナンス、漏水リスクに考慮した素材、機器等を選択します。
- ・屋根外壁等の手入れ、更新がしやすくメンテナンスが容易な1階建ての計画で、外壁外部開口部等の耐久性が向上する軒庇の出の深い計画です。
- ・屋根は、塩害に強く、強風にも耐えられるステンレス材の溶接工法葺きを用い、外壁は経年変化自体が魅力である自然木を採用し、シール材等早期劣化の少ない計画とします。

本計画においては、施設オープンに向けて、上記の各項目内容を踏まえ、今後各部門の専門家を交えて、計画保全を基本においた施設全体の維持管理計画の策定を行っていきます。



外壁及び外部開口部等の耐久性を向上させる軒の出のある低層建築であり、屋根外壁等のメンテナンスがしやすい。



基本設計報告書作成 伊藤寛アトリエ

| | |
|---------|-------------------|
| 総括・意匠 | 伊藤寛アトリエ |
| ランドスケープ | Lysning Landscape |
| 意匠 | 大成優子建築設計事務所 |
| 構造 | NAWAKENJI-M |
| 電気設備 | EOS plus |
| 機械設備 | ymo |

